

2025 GATEBALL TEXT



公益財団法人

日本ゲートボール連合

ゲートボールテキスト2025 目次



スポーツ・ハラスメントに、

みんなが『NO!』という社会を目指して・・・・・・・・・・ 2

全世界・全スポーツの共通のルール・・・・・・・・・・ 3

リスクマネジメント・・・・・・・・・・ 4

ゲートボール活動中のケガ等を未然に防ぐには・・・・・・・・ 5

公式ゲートボール競技規則・審判実施要領2025（一部抜粋）・・ 6

記録表の記入方法（例）・・・・・・・・・・ 14

1 スポーツ・ハラスメントに、 みんなが『NO！』と言う社会を目指して

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

スポーツに関わるみんながスポハラと向き合い、学び、考え続けることが重要です。

誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる社会の実現

スポーツ界ではこれまで主に、指導者側にアプローチを行い、

“スポーツに暴力、暴言、ハラスメントなどはあってはならないもの”

という考え方を浸透させてきました。

多くの指導者はこの考えを理解し、「だれもが、安全・安心にスポーツを楽しめる環境」づくりに取り組んでいます。

しかしながら、まだスポーツ界からは暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為（スポハラ）がなくなるまでには至っていません。

では、このような「スポハラ」を無くすことに取り組むのは指導者だけでしょうか？
この問題に対し、スポーツに関わる全員が向き合い、考える必要があるのではないのでしょうか？

スポーツ界から暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為（スポハラ）を排除し、
だれもが安全・安心にスポーツを楽しめる社会の実現にみんなで取り組みませんか。
スポーツにおける暴力、暴言、ハラスメントなどの不適切行為を総称し「スポハラ」と呼び、
“スポーツ界に「スポハラ」なんていない！”

“まだスポハラなんてやっているの？”

という価値観を広げ、スポーツ界から「スポハラ」を追い出しましょう。

その合言葉は、『NO！スポハラ』です。

公益財団法人日本スポーツ協会(JSP0)「No！スポハラ」ホームページより抜粋



「BAHD防止」で不適切な指導を根絶

BAHDとは、Bullying（いじめ）、Abuse（虐待）、Harassment（ハラスメント／嫌がらせ）、Discrimination（差別）の頭字語で、個人の人権や尊厳を不当に侵害する行為全般を指します。指導者にそのつもりはなかったとしても、選手の人格否定や直接的な暴力行為などは決して許されることはありません。

「口汚いコメントをすること」や「侮辱的な行為をすること」などは「心理的虐待」にあたります。

日本スポーツ協会(JSP0)

「アクティブ チャイルド プログラム(ACP)」ホームページより抜粋



2

全世界・全スポーツの共通のルール

スポーツの価値を守り、試合の公平性やアスリートの健康を保護するためにスポーツ界からドーピングを撲滅することが、アンチ・ドーピングの理念です。

ドーピングはスポーツ共通のルールで禁止されています。つまりドーピングは反則です。反則を認める競い合いはスポーツではなく、楽しい経験にはなりません。アンチ・ドーピングはスポーツの楽しさをまもるために必要なことです。

使用可能な薬リスト2025年版（一部）

日本スポーツ協会のホームページでは、使用可能な薬のリストを公開していますので、必ずご確認ください。ここでは、その一例を掲載します。

※ 本リストは、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の禁止表国際基準（1月1日発効）に伴い、毎年改定されますので、ご注意ください。

※ 下記の市販薬は名前全体が「完全一致」することを確認してください。



JSPDホームページ
「アンチ・ドーピング」

【鎮痛・解熱等：処方薬】

- ・アスピリン
- ・イミグラン（スマトリプタンコハク酸塩）
- ・カロナール（アセトアミノフェン）

【鎮痛・解熱等：市販薬】

- ・バファリンA ・バファリンルナJ
- ・フェリア ・ナロンm
- ・ノーシンアセトアミノフェン錠
- ・ノーシンアセトアミノフェン錠A
- ・ロキソニン（S、Sプラス、Sプレミアム）

【高血圧】処方薬：

- ・アジルバ錠（アジルサルタン）
- ・アダラート（ニフェジピン）
- ・アムロジン（アムロジピンベシル酸塩）
- ・オルメテックOD錠
（オルメサルタンメドキシミル）
- ・ブロプレス錠（カンデサルタンシレキセチル）
- ・ニューロタン錠（ロサルタンカリウム）
- ・ノルバスク（アムロジピンベシル酸塩）

※ 利尿薬との配合薬は禁止

アンチ・ドーピングや薬に関する最新の正しい情報を把握する

1. うっかり飲んだ風邪薬や花粉症の薬だけでなく、病院で処方される薬、漢方薬、サプリメントにも禁止物質が含まれているものがあります。さらに、塗り薬や貼り薬、目薬にもあります。大切なことは、アスリート自身が、常に最新の情報収集に努め、専門家へ相談をしながら、正しいルールを理解し、守ることです。

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）ホームページより抜粋

2. 「スポーツファーマシスト」とは、最新のアンチ・ドーピングに関する知識・情報を持つ、JADA公認の薬剤師のことです。ホームページからは各都道府県のスポーツファーマシストを検索することができます。



Sports Pharmacist
スポーツファーマシスト



3

審判員としてのリスクマネジメント

公正で円滑な審判実務は、競技を成立させるだけでなく、無用なトラブルを防ぎ、安全な環境づくりへとつながっています。

少なからずとも体に負担（筋力や心肺等）をかけることが前提であるスポーツにおいては、スポーツ活動中のリスク（ケガや事故等）の責任は、「原則、自己責任」と考えられることが一般的です。ただし、明らかにリスクの発生が予見できたり（予見可能性）、明らかに回避できたはずなのに（回避可能性）リスクが発生してしまった場合、さらにはケガや事故への対応が適切でなかった場合などは、その状況を作ったとして、イベントの主催者や担当審判員が責任を問われる可能性は十分考えられます。

リスクを未然に防ぐためにも、また、いつどのようなリスクが発生しても、すみやかに対処できるよう、日頃から予防・対応・検証のサイクルに取り組んでいかなければなりません。

リスクマネジメントのサイクル

- 予防：ガイドラインの策定と共有、連絡系統の確立、危険箇所の把握、救急箱の準備等
- 対応：かすり傷や骨折などの一般的なケガへの対処法、AEDの使用法の習得等
- 検証：ケガや事故等の記録、関係者との事後報告会議、今後の対策への活用等

審判員が行うべき主な「安全配慮義務」は次のとおりですが、これらは、競技者だけでなく、自分たち審判員自身にも該当するものであり、一人ひとりが注意する必要があります。

体調管理	● 明らかに体調が悪そうに見える場合、またプレー中、何らかの原因により途中から具合が悪くなった場合などでは、本人やチームからの申し出がなくても、プレーを辞めさせ休憩を促すことも必要です。競技開始前から終了後のセレモニーを通して、常に競技者の顔色や行動などに注意を払う必要があります。
会場管理	● ゲートボールでは、設営物や施設によるケガ等が多く発生しています。競技開始前の用具点検だけでなく、試合ごとに、コートの設置状況を確認・修正する必要があります。また、会場でケガが起きやすいと思われる階段や段差には、注意紙を貼るなどの対応も考えましょう。
天災等	● 屋外であれば、雨や雪、急な雷や突風などに十分注意し、プレーを続けることが危険と判断した場合には、直ちに競技を一時中断（または中止）し、必要に応じて、競技者の避難等の対応が必要となります。 ● 炎天下や（熱がこもりやすい）屋内での競技においては、適宜、水分補給や休憩を行うなど、熱中症対策への配慮が必要です。

参加者が楽しく、安全に競技を行うためには、まず、競技規則を遵守させることによる対等な条件と秩序の確保が重要な基本と言えます。そして、公正で円滑な審判実務により、競技を正しく成立させ、参加者すべてに対し、安全で安心な環境を提供することが審判員の義務であり、リスクマネジメントの始まりとなります。

4

ゲートボール活動中のケガ等を未然に防ぐには

いつ、どのようなケガや事故が発生しているのか。競技者も審判員も、お互いに声をかけ合い、ゲートボールによるケガ「0（ゼロ）」を目指しましょう。

日本ゲートボール連合(JGU)では、誰もが安全にゲートボールを楽しむことができるよう、事故防止事業登録者を対象に大会等での事故や傷病の事例を収集し、ゲートボール活動中の事故防止や予防に取り組んでいます。2024年度に報告のあった事例は以下のとおりです。

主な事故状況等（審判での活動を含む）	2023	2024	
	件数	件数	割合
① コートのライン、ゲート、ゴールポールでつまづく等	5	7	26%
② スティックやボールが身体に当たる等（スパーク打撃、アウトボール）	0	1	4%
③ 競技中のその他のケガ等（転倒、他人との接触等）	4	8	30%
④ テントやパイプイス等、設営物によるケガ等（準備・撤去を含む）	3	2	7%
⑤ 施設でのケガ等（階段や段差、ネット等）	4	1	4%
⑥ その他（主に体調不良、既往症、突発的な意識不明等）	5	4	15%
⑦ 往復路での事故（車の操作中や駐車場等、車に係る事故）	4	2	7%
⑧ 往復路での事故（転倒や交通事故等、自転車や徒歩に係る事故）	5	2	7%
合 計	30	27	100%

	参加中の傷害事故等			参加中の疾病等			往復路での事故等			合計
	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	通院	入院	死亡	
捻 挫 ・ 脱 臼	3									3
創 傷	1									1
挫 傷 ・ 打 撲	4	1					1			6
骨 折	4	5					1	2		12
心臓器系障害										
脳 疾 患					2					2
熱 中 症					2					2
そ の 他		1								1
小 計	12	7			4		2	2		27
合 計	19			4			4			

5

公式ゲートボール競技規則・ 審判実施要領2025（一部抜粋）

競技規則2025等の一部を記載しました。この機会にもう一度「公式ゲートボール競技規則・審判実施要領」と解説書「Gateball Q&A」を学びましょう。

競技規則をしっかりと理解することが、円滑な試合進行のために必要となります。また、競技中のマナーもスポーツでは大切なことです。マナーを守って、楽しいゲートボールを心掛けて下さい。

監督および競技者

《競技規則：P 8 第4条》

1) 監督の任務：

監督は、審判員の判定に対して、その時点に限り質問することができる。

ただし、監督が質問する時間はレフリータイムに含まない。

(1) 審判員の応答が終了した後、再度質問することはできない。

2) 主将の任務：

主将は、監督がいなかった場合は監督の任務を兼任する。

(1) 主将は、監督がいる場合でも、監督の統括のもとに、その任務を兼任することができる。

3) 監督および競技者の基本的な遵守事項：

(1) 監督および競技者は、この公式ゲートボール競技規則を理解し、遵守しなければならない。

(2) 競技に携わる者は、スポーツマン精神に則り、審判員の判定を受け入れなければならない。

(3) 監督および競技者は、フェアプレーの精神に則り、相手チーム、チームメイト、審判員、観客に対して、礼儀正しい言動で接しなければならない。

(4) 監督および競技者は、審判員の判定に影響を与えたり、自チームの反則を隠したりすることを目的とした行動や態度をとってはならない。

(5) 監督および競技者は、競技を遅延させることを目的とした行動をとってはならない。

ユニフォームの統一

《競技規則：P 9 第4条》

●競技者は、チームとして統一したユニフォームを着用しなければならない。

【Q & A：Q12】

(1) インナーウェア・雨具については、競技者の体調管理の点から、着用の統一（着ている／着ていない）は制限しない。

※雨具を着用する場合は、ゼッケンの打順番号がきちんと確認できるように、ゼッケンは一番外側に着用する。

(2) 「これまでの性別基準による許容項目」は、多様性の観点から廃止とする。

①男性はズボンで、女性はスカートで統一などは廃止し、チームとして統一のボトムズ（ズボン等）を着用する。

②男性はキャップで、女性はハットで統一などは廃止し、同一品の帽子で統一するが、着用の統一（有り／無し）は制限しない。

靴底の加工禁止

《競技規則：P 9 第4条》

●運動靴の靴底に、プレーに影響を与える加工・改造をしてはならない。

【Q & A：Q17】

スポーツ施設の多様化が進み、グラウンド面も様々な素材が増え、特に人工芝ではボールの転がりや滑り具合等に大きな差が出るようになった。

こうした状況下で、反則を防ぐためなどに、使用する運動靴に手を加えて、靴底に加工・改造をすることは、競技の公平性やフェアプレーの精神に反するだけでなく、会場施設を痛ませないためにも禁止行為とする。

タイムオーバー

《競技規則：P16 第9条》

- 1) 10秒計測の起点は次のとおりとする。
 - (1) 打順通告を受けたとき。
 - (2) 継続打撃の権利が発生したとき。
 - (3) スパーク打撃の権利が発生したとき。

- 2) 打者が10秒以内に打撃またはスパーク打撃しなかった場合は、タイムオーバーの反則となり、次のとおり処置する。
 - (1) タイムオーバーの反則以後に移動したボールは、移動前の位置に戻す。
 - (2) スタート打撃時にタイムオーバーの反則をした場合、『自球はフィールドから取り除く』。
 - (3) スパーク打撃にかかわる行為中にタイムオーバーの反則をした場合は、その状況により、第16条第4項スパーク打撃違反2. の処置の適用により、『自球はタッチ後静止した位置からアウトボールの処置』をする。

無効な移動

《競技規則：P19・P20 第11条》

【Q & A：Q51, Q163】

- 1) セットをやり直すとき、自球を踏んでいない状態でセットした他球を拾う行為は反則ではない。その際、自球が移動したら「無効な移動」となるため、自球を移動前の位置に戻す。

- 2) ユニフォーム、打順番号、打者の身につけたもの（帽子・メガネ等）が身体から離れ、ボールに触れても反則ではない。その際、触れたことによるボールの移動は「無効な移動」となるため、ボールを移動前の位置に戻す。

打撃違反の処置

《競技規則：P21・P22 第12条》

1) スタート打撃とは、打者が第1ゲート通過の成立していない自球をスタートエリアに手で置き、打撃することをいう。

※スタート打撃のとき、自球をフィールドのスタートエリア外に置いて打った場合は打撃違反の反則となり、スタート打撃時に打撃違反の反則となった場合は、『自球はフィールドから取り除く』。

【Q & A : Q61】

(1) 打順通告前にフィールドに置いたボールを、打順通告後に手で置き直さずにそのまま打った場合は、スタート打撃にはならないため、打順通告を起点とする10秒計測をそのまま継続する。

2) 打者が次のプレーをした場合は打撃違反の反則とする。打撃違反により移動したボールは移動前の位置に戻し、『自球はアウトボールの処置』をする。

- (1) 自球への押し打ちや二度打ちをした場合や、スティックのフェイス以外の部分で自球を打った場合や、スティックを足で蹴ったり、手で叩いたりして自球を打った場合。
- (2) スティックのヘッドに手を触れたまま自球を打った場合。
- (3) タッチ後、スパーク打撃の権利が発生する前に、静止している自球を打った場合。
- (4) スパーク打撃の権利が発生したにもかかわらず、スパーク打撃しないで自球を打った場合。
- (5) スパーク打撃が成立し、インナーフィールドのすべてのボールが静止する前に自球を打った場合。
- (6) スパーク打撃が成立し、スパーク打撃にかかわる行為が終了する前に自球を打った場合。
- (7) 他球にスティックが触れた場合。
- (8) 二度打ちを除き、移動中の自球にスティックが触れた場合。

スパーク打撃

《競技規則：P 25 第16条》

スパーク打撃にかかわる行為：

スパーク打撃にかかわる行為とは、タッチの成立後にインナーフィールドのすべてのボールが静止した時点から、スパーク打撃の成立後に自球から足を離すまでの行為をいう。

(1) スパーク打撃にかかわる行為中の反則が発生した場合、『自球はアウトボールの処置』をする。

【Q & A：Q 128, 131, 136, 140】

1) スパーク打撃にかかわる行為中、自球と間違えてタッチした他球を踏んでも

タッチした他球は触れることが許されているため、反則にはならない。

2) タッチした他球を手から落とした場合。

(1) 落とした他球が、踏んでいる自球に触れても反則ではない。

(2) 落とした他球が、踏んでいない自球に触れたら、スパーク打撃違反の反則となり、『自球は、タッチ後静止した位置からアウトボールの処置』をする。

3) 自球を踏む前にタッチした他球を自球に接触させた場合は、スパーク打撃の反則となり、『自球は、タッチ後静止した位置からアウトボールの処置』をする。

アウトボール打撃違反

《競技規則：P 29 第17条》

打者がアウトボールを打撃して、無効な移動のボールを除くフィールドのボールに当たった場合は、アウトボール打撃違反の反則となり、次のとおり処置する。

(1) アウトボール打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す。

(2) 『自球は、アウトボール打撃違反の反則が発生した位置からアウトボールの処置』をする。

《審判要領：P 75 [IV] 4-(3)-2》

打者の打撃した自球（アウトボール）が、アウターフィールドを移動中に別のアウトボールに当たった場合は、アウトボール打撃違反の反則として「反則」を宣告し、別のアウトボールは移動前の位置に戻し、『自球は、反則が発生した位置（別のアウトボールに当たった位置）からアウトボールの処置』をする。

触球違反

《競技規則：P 30 第18条》

打者が競技規則で許されている行為以外でフィールドのボールに触れた場合は、触球違反の反則となり、状況に応じて次のとおり処置する。

(1) 他球に触れた場合。

- ①触球違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す。
- ②触球違反した他球は、触球した位置に戻す。
- ③『自球は、静止した位置からアウトボールの処置』をする。

(2) 自球に触れた場合。

- ①触球違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す。
- ②『自球は、静止した位置からアウトボールの処置』をする。

競技妨害

《競技規則：P 30 第19条》

1) 次の場合は競技妨害とする。

- (1) 監督または競技者が第4条第4項に定める「監督および競技者の基本的な遵守事項」を遵守せずに審判員の注意を受けたにもかかわらず、同一チームの者がその注意にしたがわなかった場合。
- (2) 監督または競技者が競技を妨害したと審判員に判定された場合。

2) 競技妨害になった場合は、競技妨害したチームが有利になることを防止するため、状況に応じて次のとおり処置する。

- (1) 打者の権利の没収。
- (2) アウトボールの処置。
- (3) ゲート通過の成立の取消しや上がりの成立の取消し。
- (4) 監督または競技者の退場。
 - ①退場になった競技者のボールはフィールドから取り除く。
 - ②退場になった競技者の打順番号は欠番とする。
 - ③退場になった競技者のそれまでの得点は有効とする。

(5) 競技没収。

- ①主審が、チームに競技の進行を命じたにもかかわらず、その注意にしたがわなかった場合は競技没収とする。
- ②競技没収とした場合、主審は「ゲームセット」を宣告し、競技者を競技終了後の指定の位置に整列させて、勝敗の決定を行う。

使用可能な用具

- 1) 認定用具について：
- 日本ゲートボール連合（JGU）主催の全国大会に出場する選手は、以下の確認がとれる用具を使用しなければならない。
- 〔シャフトの認定シール〕 JGUマーク、メーカー番号、認定年がはっきりと見えること。
〔ヘッド〕 メーカー番号がはっきりと見えること。
- 2) 共通金具について：
- (1) スティックについては、下表の「使用」に○のついているものが使用可能。
(2) シャフトとヘッドのメーカー番号が一致する場合は使用可能。
(3) シャフトとヘッドのメーカー番号が違う場合、下表のようにシャフトとヘッドの両方に同じ色（赤・緑の2種類あり）の「共通金具シール」が貼付されている場合のみ使用可能。

※共通金具シールは、2014年（平成26年）7月以降に販売されたシャフトとヘッドに貼付されています。

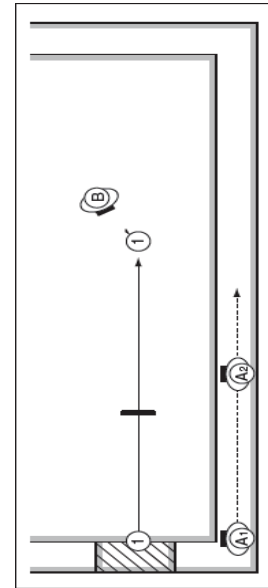
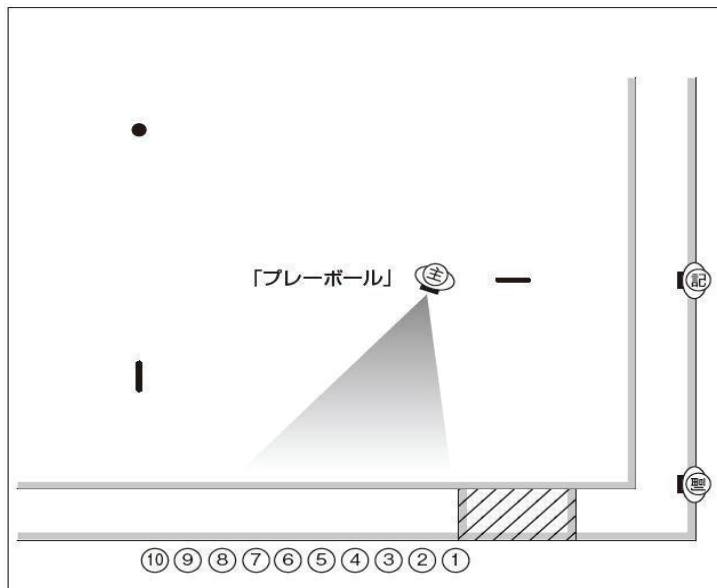


シャフト	共通金具シール	ヘッド	共通金具シール	使用
A社		A社		○
A社	同色あり	B社	同色あり	○
A社	あり	B社	なし	×
A社	なし	B社	あり	×
A社	なし	B社	なし	×

競技開始

《審判要領：P 49 〔Ⅲ〕 3／同P 72 〔Ⅳ〕 4-(2)-3)》

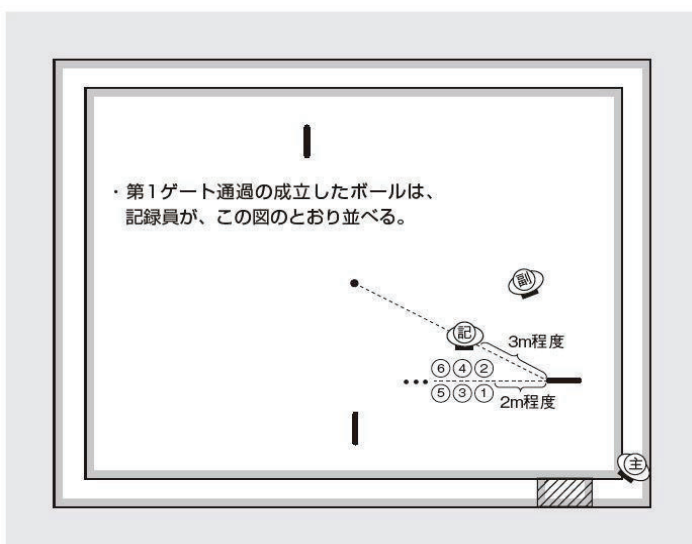
- 1) 主審は、基本姿勢のまま、「プレーボール」を宣告する。プレーボールの宣告に続き、1番の競技者に向きを変えて、1番の打順通告の体勢に移る。
- 2) 主審は、「1番」の打順通告後、ボールの移動を判定する位置に最短で移動し、B審判員になる。



同点決勝時の主審・副審・記録員の位置

《審判要領：P 54・P 55 〔Ⅲ〕 8》

【同点決勝時の記録員の位置とボールを並べる位置(例)】



記録表の記入方法（例）

記録表は、単なる競技の結果だけでなく、競技がどのように進行されたかが分かる公式の記録です。記録表の記入方法について、今一度、確認をしましょう。

記録表 / SCORE SHEET										
競技名 第 45 回 全日本ゲートボール選手権大会					コート番号 07		開始時刻 13:10			
会場名 県立総合運動場					年月日 2029年9月18日		試合 03		終了時刻 13:42	
Venue 県立総合運動場					Date 2029年9月18日		Match No. 03		End 13:42	

先攻チーム / Leading Team						後攻チーム / Following Team					
トス スパーフス						トス ファイターズ					
No. 選手名 PLAYERS NAME						No. 選手名 PLAYERS NAME					
① 山内 敏夫						2 小島 修一					
3 林 周一						4 尾崎 三郎					
5 太田 寿一						6 松島 みよ子					
7 清水 道子						8 渡辺 育雄					
9 山本 幸治						10 田村 芳子					
交1 7-1 杉山 あき子						交2 8-2 高橋 英雄					
交2 						交2 8-1 浅井 秋子					
交3 						交3 後藤 好美					
監督 河野 知男						監督 石谷 幸三郎					

巡回数 / Round											
	1G	2G	3G	上がり GP	得点 Points		1G	2G	3G	上がり GP	得点 Points
1	✓	✓	✓	✓	5	2	✓	✓			2
3	✓	✓			2	4	✓	✓			2
5	✓	✓	✓		3	6	✓	✓	✓	✓	5
7					0	8	✓	✓	✓		3
9	✓	✓			2	10					0
主将サイン / Cap.Sign					総得点 / TEAM POINTS	主将サイン / Cap.Sign					総得点 / TEAM POINTS
山内 敏夫					12	高橋 英雄					12
同点決着 / Tiebreaker										決定打順 / Set-No.	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10										2 巡回 6 番	

主審 / Chief Referee		副審 / Assistant Referee		記録員 / Recorder		特記 / Remarks	
藤井 実		田中 哲雄		中野 隆志		線審 大川 紀子	

トスが終了した後、先攻・後攻の選択権を得たチームが選択した方に「✓」を記入する。

交代の申し出があったとき、交代する競技者を確認し、「打順 ー その打順の何番目の交代か」を記入する。

主将を確認し、
打順に「○」をつける

主審が交代の宣告をしたときに、仕切り線を記入する。

一線審がいる場合は、
特記に記入する。

特に注意すべき記入方法

- 1 【競技開始前】 トス
(1) トスにより先攻・後攻の選択権を得たチームに対し、トス欄に「✓」を記入する。
- 2 【競技開始前】 オーダー表の記載内容
(1) 主将の打順番号（主将が交代者の場合は交代者の項目）を「○」でかこむ。
- 3 【競技開始時】 競技開始の時刻を記入する。
- 4 【競技中】 巡回数（1 番の打順通告が行われるごとに、巡回数の番号を「✓」で消していく。）
- 5 【競技中】 ゲート線にかかわる記入（次ページ参照）
- 6 【競技中】 競技者の交代
(1) 交代の申し出があったとき、交代する競技者を確認し、該当する交代競技者の項目に、打順とその打順の何番目の交代かを「*（打順）－*（何番目か）」を記入する。
(2) 主審が交代を宣告したとき、得点チェック欄の該当する枠内に、仕切り線を記入する。
- 7 【競技終了時】 競技終了の時刻を記入する。
- 8 【競技終了後】 打順ごとの得点とチームの総得点を記入する。
(1) 主審は、記録内容を確認し、勝ったチームの総得点を「○」でかこむ。

記録員

【競技中】ゲート線にかかわる記入：

記録員は、ボールの外縁が、次に通過成立させるゲートのゲート線にかかって静止した場合で、次のいずれかに該当するとき、記録表の得点チェック欄の該当するワク内（左上）に小さな○印を記入する。

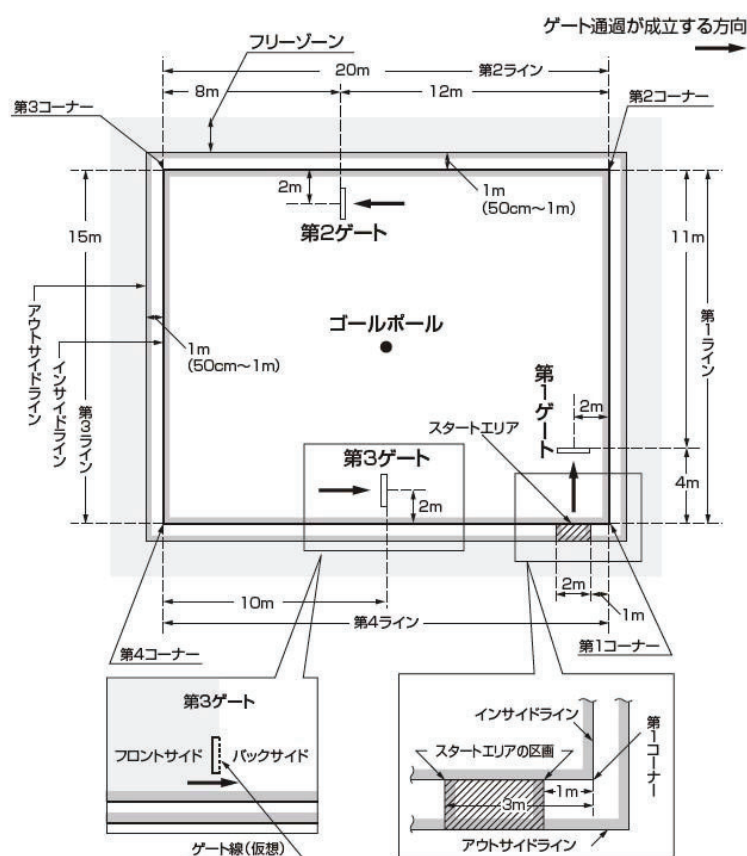
- (1) インボールがバックサイドから移動。
- (2) アウトボールの打ち入れ。
- (3) スパーク打撃にかかわる行為でのセット後の反則により処置された他球。

○印を記入したボールの外縁がゲート線から離れたとき、○印に横線を引く。

《審判要領：〔V〕 1 》

- 記録員は、主審または副審からの記録に関する確認への応答をする。
- 記録員は、判定、宣告、通告、処置に関する主審・副審への助言および補佐をする。

コート



新しい書籍のご案内

公式競技規則・審判実施要領の一部改正に伴い、日本ゲートボール連合（JGU）の関連書籍を順次改定しております。

ご希望の方は、お住まいの都道府県ゲートボール団体へお問い合わせをお願いします。

『公式ゲートボール競技規則・審判実施要領2025』



公式ゲートボール競技規則・審判実施要領のほか、付録として「ゲートボールに関する用語の解説」「公式リレーション-2 & 3 競技規則」「得点ボード使用例」なども掲載しています。

価格：2,000円（税込）

B6判・146ページ

『ルールの解説 Q&A 競技規則2025対応版』



競技規則の正しい解釈を確認できる解説集。

実際にコートで起こる可能性がある事象について Q & A 形式でまとめ、図や解説、競技規則の参照部分を掲載しています。

価格：3,000円（税込）

A5判・212ページ

『ゲートボール審判員資格試験想定問題集—競技規則2025対応版』



審判員資格を受験する人のための想定問題集。

初めてとなる3級審判員から1・2級の上級審判員まで、すべての人を対象に多くの練習問題と実践問題を通じ、審判員として必要な知識を習得することができます。

価格：未定

ゲートボールテキスト 2025

発 行 日 2025年7月1日
発 行 者 公益財団法人日本ゲートボール連合
東京都港区虎ノ門1丁目11-2
日本財団第二ビル7階
電話：03（6206）7623
<https://www.gateball.or.jp/>



印 刷 株式会社かいせい
不許複製 公益財団法人日本ゲートボール連合の許可なく複製・転載
はできません。

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、

スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。